

岡山県地域人材育成事業

「スクール・ファームステイ」開催

平成 25 年 1 月 22 日(火)・23 日(水)の両日、岡山外語学院に学ぶ留学生(中国・韓国・ネパール) 19 名を本校にお迎えし、「スクール・ファームステイ」を開催しました。

これは、今年度から本校が取り組んでいる『地域人材育成事業』の一つとして実施したもので、グローバル化が進む社会の中で、将来、国際人として活躍できる素養となる「英語力」や「コミュニケーション能力」を養うことがねらいです。



対象は食品科学科 2 年生と 3 年生で、留学生の方々と一緒にシュークリームや味噌マフィン作りの実習を行いました。日本語勉強中の留学生ということもあり、気軽に話しかけ合いながら実習に取り組み、最後には中国語を教えてもらったり、岡山弁を伝授したりと、楽しい時間を過ごしました。今後もコミュニケーションのツールとして外国語を身に付けてくれることを期待しています。



ビタミンとは「活性なたんばく質だ」と教壇に立っていた頃、生徒に教えていた。恩師が聞いたらきつと叱られるだろう。さて、本年度もあと少しとなったが、今日は、本校に通ってくる生徒らが、本校でどういった勉強や活動をしているか紹介しようと思うのである。本校は農業単科の県立の専門高校である。だからと言って決して特別な学校ではない。まず、普通教科では、国語、数学、英語、理科、社会、保健体育、芸術(音楽・美術・書道)そして家庭科を学ぶ。専門教科は 5 つの学科に分かれるが、農業という大学科の中で、農業科学科は作物・野菜・有機野菜・起業家教育・農業機械・農業経営を学ぶ。次に、園芸科学科は草花・果樹・園芸セラピー・植物バイオテクノロ

備中高松城下町かわら版

ビタミン タカノ

校長 石田 正人

ジーを学ぶ。畜産科学科は酪農・養豚・養鶏、そして実験動物を学ぶ。続いて農業土木科は測量・設計・施工・地域環境を学ぶ。最後に、食品科学科は食品加工・微生物・食品化学を学ぶ。そして、課外活動では生徒らは十三の運動部と十二の文化部、さらに二つの会・研究部で活動する。また、全校生徒は、生徒会・農業クラブ・家庭クラブに所属し、自主活動として、様々な活動をする。さらに、清親寮・保健室・図書館・購買は本校教育活動の中で不可欠な役割を果たしてくれている。これらを総称して「ビタミンタカノ」と私は呼ぶ。高農の生徒が生きていくとしているのはこれらのお陰だ。そう言えば、岡山県の伊原木知事は、好んで「生き活き」という言葉を使われるそうだ。このように今の高農を文字通り生き活きとさせた百八十六名の高農の百十四回目の卒業式が明日行われる。

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

第 86 号

平成 25 年 2 月 28 日

発行元

岡山県立
高松農業高等学校

tel

086-287-3711

fax

086-287-3713

OHK「金曜 G7」が取材

2月15日(金)、OHK(岡山放送)のTV番組「金曜 G7」で本校の生徒の取組が放送されました。これは、同放送局が今年度春先から継続して取材にいられていたので、7月に続いて2度めの放送です。今回は『情熱だけは負けない!食を支える高校生』と題して、テンペチーズの商品化に挑戦している生徒、全国お米甲子園で金賞を受賞した生徒たち、さらには酪農家への夢の実現に向けて進学を決めた生徒らを取り上げたものです。胸を張り、笑顔で堂々と夢を語る生徒たちの姿。改めて頼もしく思いました。



「モモのせん定」講習会を開催

2月19日(火)、本校平山果樹園において、園芸科学科 2 年生果樹専攻生 13 名が「モモの岡山自然流弱せん定栽培におけるせん定及び冬管理」について学びました。講師に、総社市で清水白桃等 70 a 余りのモモ栽培を手がけておられる秋山陽太郎氏をお迎えし、モモの樹形づくりや冬季せん定のノウハウ等を教えていただきました。専攻生も早速、間引き枝に鋸や鋏を入れていました。間もなくモモの摘蕾(てきらい)作業が忙しくなります。



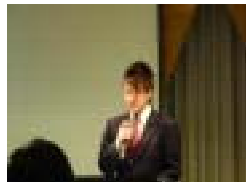
平成 24 年度 高松農業高校研究発表会 (1月 23 日・31 日/2月 1 日)

2月の行事

- 14(木) 学校保健委員会
- 20(水) 第 4 回 PTA 役員会・評議員会
- 22(金)~28(木) 1・2 学年末考査
- 28(木) 卒業式予行・同窓会入会式
就農予定者激励会・退舎式

3月の行事

- 1(金) 卒業式
- 4(月) 学校評議員会・学校評価委員会
- 12(火)~13(水) 学力検査・面接
- 19(火) 合格発表・終業式・寄宿舎閉舎
- 26(火) 入学許可予定者招集日



今年も各学科の 3 年生による研究発表会が開催されました。専門学習の中でそれぞれが研究課題を見つけ、一年間取り組んだ成果を発表しました。発表会は、大学の卒論発表さながらで、内容的にも興味深い発表が多く、大学や企業と連携した報告もありました。進行役は 1・2 年生が担当し、先輩たちの発表に鋭い質問を交わしていました。発表した 3 年生の成長ぶりはもちろんのこと、下級生たちの「僕はあの先輩の研究テーマを引き継ぎたい」という会話に、この発表会の素晴らしさを実感しました。



※ A 科: 農業科学科

H 科: 園芸科学科

Z 科: 畜産科学科

E 科: 農業土木科

F 科: 食品科学科

